問合せ先
観光振興課　観光振興係
担当：藪・坪井
内線：2974
電話: 0739（26） 9929

令和８年 11 月 20 日

田辺市観光振興課
課長　柳本　一吉

「二つの道の巡礼者（DUAL PILGRIM／共通巡礼）」達成登録者 20,000 名の突破について

田辺市とサンティアゴ・デ・コンポステーラ市は、平成 26 年5月 13 日に、持続可能な観光地を目指すとともに、巡礼文化を世界に向けて発信していくことを大きな柱とした「観光交流協定」を締結し、同年7月6日には「観光交流協定に係る覚書」を締結しました。

この観光交流協定に基づき、両市の共同事業として、「熊野古道」と「サンティアゴ巡礼道」の二つの道を訪れる人を増やすために、平成 27 年2月１日より「共通巡礼手帳」を発行し、令和7年4月 25 日には、両方の道を歩かれた方「二つの道の巡礼者（DUAL PILGRIM／共通巡礼）」の登録者数が 10,000 名に達しました。

その後も国内外から多くの巡礼者にご参加いただくとともに、「二つの道の巡礼者（DUAL PILGRIM／共通巡礼）」の取組は、欧州文化観光賞「ECTN Awards」において一般投票賞（Public Choice Award）及び「文化・遺産をテーマとした国際的な観光商品」部門の準グランプリを受賞するなど、国際的にも高い評価を受けています。

こうした中、このたび令和8年 11 月 17 日、登録者数が 20,000 名に達しました。

なお、20,000 人目の登録者については、サンティアゴ・デ・コンポステーラ市において記念セレモニーを実施しました。

つきましては、共通巡礼登録者数 20,000 人達成について、報道方よろしくお願いいたします。

※詳しくは別添資料をご覧ください。

未来へつながる道 田辺市
JUNCTION TO THE FUTURE
ともに歩こう。次の１０００年へ。

サンティアゴ巡礼道　熊野古道

「二つの道の巡礼者（DUAL PILGRIM／共通巡礼）」登録者 20,000 名突破！

田辺市とサンティアゴ・デ・コンポステーラ市は、平成26年5月13日に、持続可能な観光地を目指すとともに、巡礼文化を世界に向けて発信していくことを大きな柱とした「観光交流協定」を締結し、同年7月6日には「観光交流協定に係る覚書」を締結しました。

この観光交流協定に基づき、両市の共同事業として、「熊野古道」と「サンティアゴ巡礼道」の二つの道を訪れる人を増やすために、平成27年2月1日より「共通巡礼手帳」を発行し、令和7年4月25日には、両方の道を歩かれた方「二つの道の巡礼者（DUAL PILGRIM／共通巡礼）」の登録者数が10,000名に達しました。

その後も国内外から多くの巡礼者にご参加いただくとともに、「二つの道の巡礼者（DUAL PILGRIM／共通巡礼）」の取組は、欧州文化観光賞「ECTN Awards」において一般投票賞（Public Choice Award）及び「文化・遺産をテーマとした国際的な観光商品」部門の準グランプリを受賞するなど、国際的にも高い評価を受けています。

こうした中、このたび令和8年11月17日、登録者数が20,000名に達しました。

なお、20,000人目の登録者については、サンティアゴ・デ・コンポステーラ市において記念セレモニーを実施しました。

【20,000人目の達成登録者となった日本人のトミナガ　メグミさん】

≪氏名≫　トミナガ　メグミ（左）
≪国籍≫　日本人



【共通巡礼手帳の概要】

共通巡礼手帳は、片面には熊野古道、もう片面にはサンティアゴ巡礼路のスタンプ台紙となっており、熊野古道とサンティアゴ巡礼路を歩いて既存のスタンプを押印して集めると、両方の巡礼道を歩かれた方を「二つの道の巡礼者（DUAL PILGRIM／共通巡礼）」として、記念ピンバッジと「共通巡礼達成証明書」を贈呈するとともに「共通巡礼WEBサイト」で紹介するものです。



<共通巡礼手帳>



<共通巡礼達成証明書>

（参考）「二つの道の巡礼者（DUAL PILGRIM／共通巡礼）」
達成者上位10か国

＜国別（全86カ国中）＞
1位　台湾
2位　アメリカ
3位　日本
4位　中国
5位　オーストラリア
6位　スペイン
7位　カナダ
8位　イギリス
9位　シンガポール
10位　イタリア

［本件に関するお問合せ先］
田辺市観光振興課　観光振興係　担当：藪・坪井
TEL：0739-26-9929（直通）
MAIL: kankou@city.tanabe.lg.jp

共通巡礼手帳の取組概要について

熊野三山へと続く「熊野古道」とサンティアゴ・デ・コンポステーラへと続く「サンティアゴ巡礼道」は、世界で２例しかない数百 km にも及ぶ巡礼道として共にユネスコの世界遺産に登録されており、平成 26 年５月 13 日には持続可能な観光地を目指すとともに、巡礼文化を世界に向けて発信していくことを大きな柱とした「観光交流協定」を締結し、同年７月６日には「観光交流協定に係る覚書」を締結しました。

その具体的な取組として、「熊野古道」と「サンティアゴ巡礼道」の二つの道を訪れる人を増加させるため、下記のとおり実施しています。

記

【概要】

熊野古道とサンティアゴ巡礼道には、それぞれスタンプが設置されており、いずれもスタンプを集める押印帳・巡礼手帳が存在しています。そこで、新たに片面には熊野古道、もう片面にはサンティアゴ巡礼道のスタンプ台紙となっている**「共通巡礼手帳」**を作成し、熊野古道とサンティアゴ巡礼道を歩いて既存のスタンプを押印して集め、最終的に両方の巡礼道を歩かれた方を「二つの道の巡礼者（DUAL PILGRIM／共通巡礼）」として、**記念ピンバッジ**と**熊野本宮大社発行の共通巡礼達成証明書**を贈呈するとともに**「共通巡礼ＷＥＢサイト」**で紹介します。

【実施時期】

平成 27 年２月１日から開始

※共通巡礼達成証明書は、取組１周年を記念して平成 28 年２月１日から発行

【システム】

下記指定ルートのスタンプを集めていただきます

《熊野古道：下記５ルートの内のいずれか１ルートを巡礼していただく》

① 中辺路ルート：徒歩にて、滝尻王子→熊野本宮大社（38km）を巡礼

② 中辺路ルート：徒歩にて、熊野那智大社～熊野本宮大社（30km）間を巡礼

③ 熊野三山周遊：徒歩にて、発心門王子→熊野本宮大社（７km）を巡礼するとともに、熊野速玉大社及び熊野那智大社を参詣（移動手段問わず）

④ 小辺路ルート：徒歩にて、高野山→熊野本宮大社（65km）を巡礼

⑤ 大辺路ルート：扇ヶ浜潮垢離場と闘雞神社、あわせて大辺路ルート（白浜町～那智勝浦町間）の２か所以上に訪問するとともに、熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社に参詣（移動手段問わず）

《サンティアゴ巡礼道：下記のいずれかで巡礼していただく》

①徒歩・馬で少なくとも最後の 100km 以上を巡礼

②自転車で少なくとも最後の 200km 以上を巡礼

※上記は、以前よりサンティアゴ大聖堂巡礼事務所が設けているルールです。
サンティアゴ巡礼のゴールはサンティアゴ大聖堂巡礼事務所となります。

※当共通巡礼手帳は、サンティアゴ大聖堂巡礼事務所に公式に認められています。

《スタンプ》

熊野古道とサンティアゴ巡礼道には、それぞれにスタンプが設置されています。
当該取組については、既に設置されているスタンプを使用しています。

《両道の巡礼を達成した時》

・世界遺産熊野本宮館、田辺市観光センターまたは、サンティアゴ市観光局を訪れていただき、巡礼達成スタンプを押印します。

・「二つの道の巡礼者（DUAL PILGRIM／共通巡礼）」として、巡礼達成記念ピンバッジと熊野本宮大社発行の共通巡礼証明書を贈呈します。

・「共通巡礼ＷＥＢサイト」で「二つの道の巡礼者（DUAL PILGRIM／共通巡礼）」として紹介します。

《共通巡礼手帳の配布箇所》

・田辺市観光振興課、田辺市観光センター、熊野古道館、世界遺産熊野本宮館、サンティアゴ市観光局、わかやま紀州館、その他協力施設

【巡礼達成第１号、第 500 号、第 1,000、第 5,000 及び第 10,000 号について】

≪第１号≫　平成 27 年２月 16 日（月）　アメリカ人男性（52 歳）



≪第 500 号≫　平成 29 年３月 30 日（木）　アメリカ人男性（38 歳）



≪第 1,000 号≫　平成 30 年２月 21 日（水）　アメリカ人男性（38 歳）



≪第 5,000 号≫　令和５年 10 月７日（土）　シンガポール人女性



≪第 10,000 号≫　令和７年４月 25 日（金）　メキシコ人男性

